

平成13年度

中城湾港泡瀬地区環境監視・検討委員会

第2回 委員会資料

<当面の事業の進め方>

平成13年7月31日

内閣府沖縄総合事務局開発建設部
沖縄県土木建築部
(財)港湾空間高度化環境研究センター

当面の事業の進め方について

泡瀬地区の整備については、港湾計画策定段階から市民意見を反映して環境保全の観点から配慮された計画となっており、かつ、全国で初めての港湾環境計画を策定する等の取り組みが行われてきているが、今後事業を進めるに当たっても、さらに環境保全に配慮しながら事業を進めなければならないと考えている。

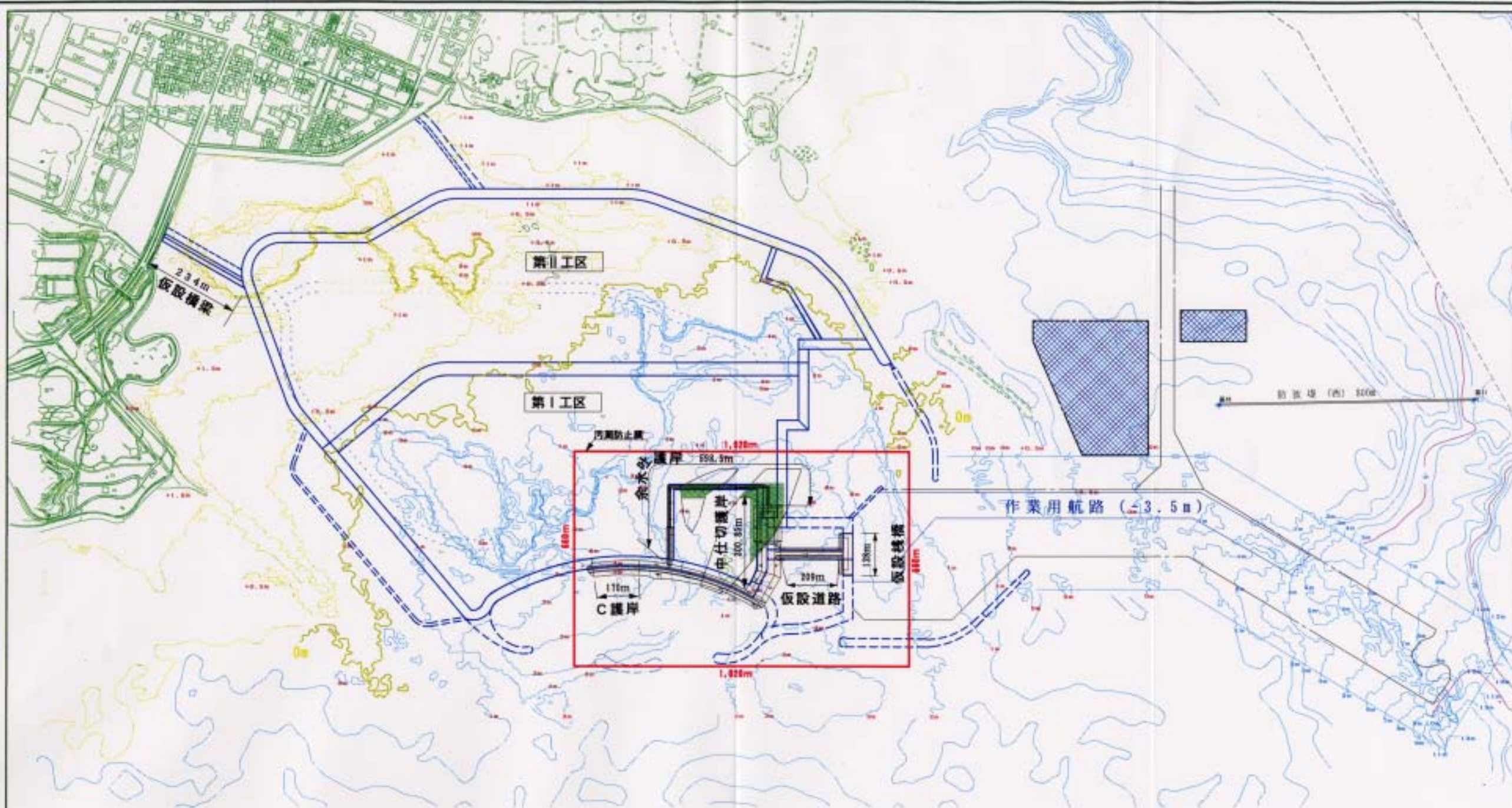
当面整備を予定している第1区域においては、海草移植について検討することが重要である。

海草の移植手法については、WGの結論に示されたようにこれまでの実績から小規模の範囲では有効性は確認できたが、事業者としては環境監視・検討委員会の意見を踏まえ、更に広範囲の移植に対してもその有効性を確認することで、環境と共生した事業の展開を着実に図ることができると考えている。

したがって、当面広範囲な海草移植事業に取り組み、海草の生育状況等を環境監視・検討委員会で検討いただき、その結果等を踏まえて護岸工事等の埋立事業への着手を総合的に判断したいと考えている。

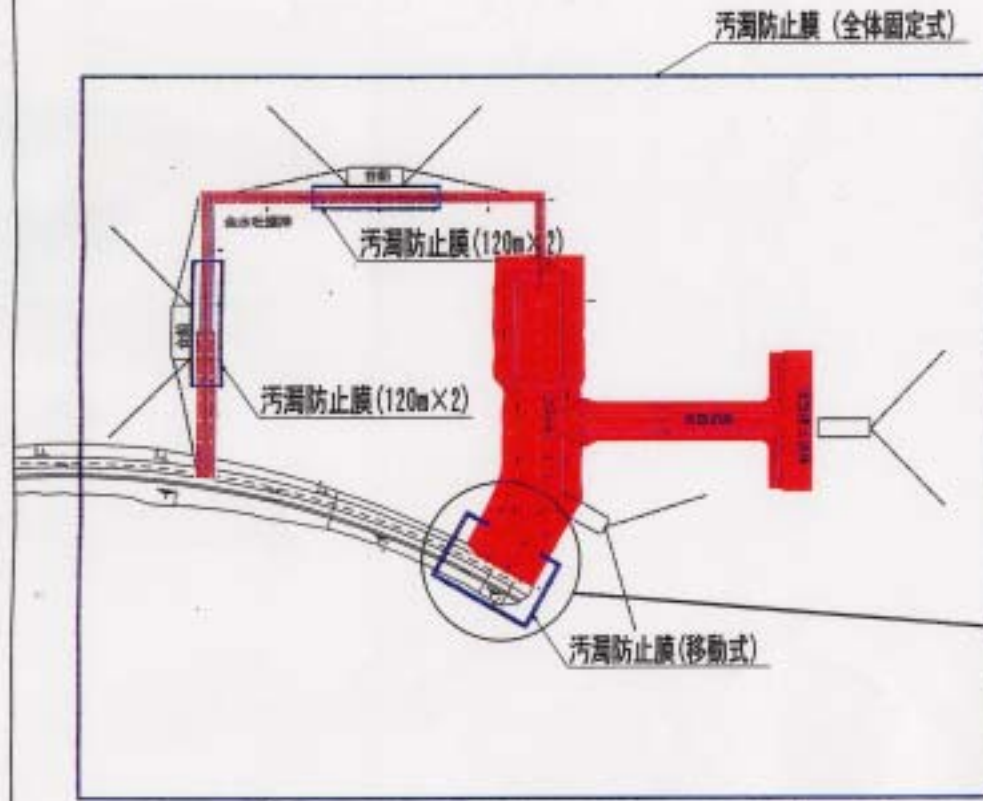
当面の海草移植スケジュール(案)

| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月～ |
|----------------|----|-------------|----|-----|------|
| 環境監視・ 検討委員会 | | ○ (7/31) | | | ○ |
| 海草移植 | | | | | |
| 地元説明会 | | ○ | | | |



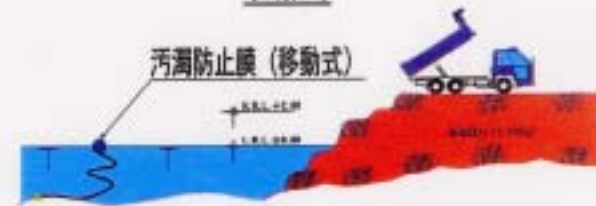
| 工事内容 | |
|--------|---|
| 汚濁防止膜 | 捨石工事区域全体を囲む固定式及び各工種毎に囲む移動式と2重に防止膜を展開する。 |
| 翠場移植 | 機械化工法により大型の海草類約3haを移植。 |
| 護岸築造 | 浚渫時の沈殿池及び埋立地の外周護岸として、捨石投入約100,000m ³ 、鋼矢板打込1042枚を施工。 |
| 仮設棧橋築造 | 埋立地内への掘土場所として、基礎杭打込232本、PC覆工版546枚、捨石投入約17,000m ³ を施工。 |
| 仮設道路築造 | 仮設棧橋から護岸までの工事用道路として、捨石投入約18,000m ³ を施工。 |
| 仮設橋梁築造 | 埋立地内への工事用道路として、基礎杭打込200本、PC覆工版468枚、捨石投入約19,000m ³ を施工。 |

汚濁防止膜布設図



護岸施工詳細図

干潮時



満潮時

